

再生エネ先進国・ドイツ 環境保護団体が事業参入

再生可能エネルギー先進国のドイツやデンマークは、市民出資によるご当地エネルギー開発の先進国でもある。

環境保護団体、グリーンピースが1999年に設立した電力会社「グリーンピースエナジー」もその一つ。当初は再生可能エネルギー100%の電力を、消費者に供給する会社としてスタートしたが、2001年には発電所建設を進める子会社も設立した。会社の資金を、すべて市民からの出資でまか

なう協同組合方式の市民発電会社だ。

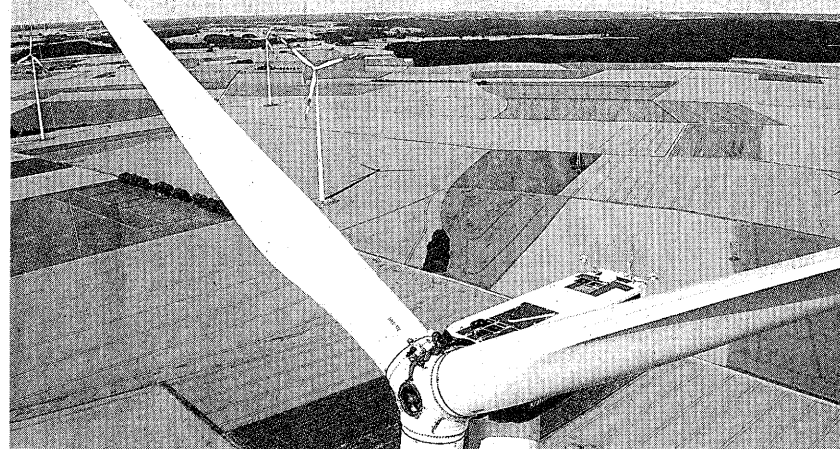
同社のマルセル・カイフェンハイム広報部長は「当初は出資者数十人、顧客は200人足らずだったが今では出資者の数は2万3千人を超え、11万軒の顧客に電力を供給するまでになった」と話す。

最近では風力発電などの電力が余った時にその電力を利用して水素ガスを生産し、各家庭に供給する「風力ガス」の生産と利用を進める事業に

2014/5/6
山陽中央新報③

余剰電力でガス生産

グリーンピースエナジーがドイツ南部に建設中の風力発電装置（グリーンピースエナジー提供）



も着手した。

カイフェンハイム広報部長は「高価格の蓄電池などは不

要なので、余剰電力でガスを生産することは効率的な電力貯蔵方法だ」と話している。